

戦略研究について

1 経緯

国民的ニーズが高く、確実に解決を図ることが求められている研究課題について、成果目標を設定した大規模な「戦略研究」の必要性が指摘され、厚生労働科学研究費補助金において、従来的一般公募による研究課題（従来分）に加え、新たな「戦略研究」が平成 17 年度に創設された。

戦略研究は、厚生科学審議会科学技術部会の意見を踏まえながら、研究成果目標及び研究の方法を定め、選定された機関が実際に研究を行うものや研究に協力する施設等を一般公募して実施してきた。

これまでに、戦略研究として 8 分野 17 課題が実施され、国民の健康を守る政策に関連するエビデンスを生み出すための大型臨床介入研究等を実践することによって、国民の健康の維持・増進に対する一定の成果を挙げてきた。

2 現状

現在、戦略研究としては、「生活習慣病重症化予防のための戦略研究（解析のみ）」「健康医療分野のデータベースを用いた戦略研究」の 2 課題が遂行されているが、いずれも平成 28 年度末に終了予定である。平成 29 年度以降の新たな戦略研究は予定されていない。

一方で、「医療分野研究開発推進計画」に基づいた省庁横断的な研究組織である国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）が平成 27 年 4 月に設立され、厚生労働科学研究に期待される役割及び研究予算の枠組みにも変化が生じてきた。

3 今後について

以上の状況を踏まえ、戦略研究という枠組では、平成 29 年度の予算要求はしないこととし、健康医療分野のデータベースを用いた研究については、臨床研究等 ICT 基盤構築研究事業の中で取り組み、大規模臨床介入研究については、適宜、必要に応じてプロジェクトを立ち上げる等柔軟に実施していくこととしたい。

また、これまでの戦略研究については、別途、総括を行う場を設け、今後の厚生労働科学研究のあり方についての示唆を得たい。